

呼吸器内科よりのご案内

当院呼吸器内科は、日本呼吸器学会施設です。当呼吸器科が対象とする主な疾患としては、肺炎・胸膜炎といった感染性の疾患、主に喫煙が原因となる慢性閉鎖性肺疾患、気管支喘息といったアレルギー性の疾患、その他に気胸などがあります。多岐にわたる呼吸器疾患ではありますが、検査と診断に幅広く対応し、外科・病理診断科・放射線科との密接な協力関係を取りながら的確で迅速な診療・治療ができるよう日々努力しております。

現在、スタッフ5名で運営していますが、3名が呼吸器専門医です。月曜日から金曜日まで毎日外来診療を行っております。急を要する患者様については、地域医療連携室に連絡をとって頂くか、代表(0725-41-1331)に連絡頂きスタッフに直接相談して下さい。時間外でも対応させていただきます。

本年秋より、超音波気管支鏡ガイド下穿刺吸引(EBUS-TBNA)を導入いたしました。これまでは、肺門・縦隔周辺の腫瘍やリンパ節腫脹のような気管支鏡検査では手技的にアプローチ困難な症例は、外科的肺生検に頼っ

ておりました。しかし、このEBUS-TBNAの導入により、低侵襲的に繰り返し検査を行う事ができるようになりました。この検査法は、肺癌やサルコイドーシス、癌病期診断などの診断率の向上に実績を出し高く評価されています。胸部CT検査にて縦隔リンパ節腫大・腫瘍の疑われる患者様がいらっしゃいましたらご紹介いただきますようお願い申し上げます。

2011年アメリカ胸部疾患学会より呼気NO(一酸化窒素)の臨床応用の指針が示され診断や治療方針を決定できるようになりました。当院でも、この10月より呼気NO測定を開始します。呼気中のNO濃度は、気道に好酸球性炎症があると上昇し、これをモニタリングすることで、喘息の診断とコントロール状態の評価ができます。診断に苦慮する難治性の咳症状の患者様がございましたらご紹介よろしくお願ひします。

今後も周辺の病院、医院との連携を円滑に行ない、お役に立つよう努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科

部長 柳生 恭子

病院の理念



1. 患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に努めます。
2. 患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
3. 新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
4. 思いやりのある医療人の育成に努めます。

地域の皆様に出張講演を行っています!

和泉市立病院では、地域の皆様の健康増進や療養生活にお役立て頂けるよう、病院主催により様々なテーマの医療講演会を開催しています。

また、地域で活動されている自治会等の団体よりご依頼があれば、講演の講師派遣依頼にもお応えし、各地域の自治会が運営している「いきいきサロン」など、高齢者の方の催しや、小中学校の先生・職員の研修などにお役立て頂いております。

10月には2件のご依頼があり、当院医師が出張講演を行いました。今号の地域医療連携室だよりでは、こちらの模様をご紹介します。

「インフルエンザの予防と治療」

講師：呼吸器内科 松下 晴彦
日時：10月13日（火）13：30
会場：グリーンヒル寺門いずみ自治会
集会所
参加者数：20名



寺門町グリーンヒル自治会が主催する「いきいきサロンきさらぎ会」にて、インフルエンザの予防と治療についてのお話をさせて頂きました。

これから流行することが予想されるインフルエンザについて、ご参加の皆様も熱心に聴講されていました。講演後の質疑応答でも、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンのことなど、たくさんのご質問があり、講師の松下先生から丁寧な説明を受け、ご参加の皆様もご理解を深めて頂けたと思います。

「高血圧について」

講師：循環器内科 中村 泰浩
日時：10月20日（火）13：00
会場：ガーデンハウスいぶき野集会所
参加者数：20名



いぶき野自治会が主催する「老人クラブむつみ会」にて、高血圧についてお話をさせて頂きました。

高血圧が引き起こす疾患、予防法、治療法について詳しく解説され、ご参加者には現在治療中の方、高血圧を心配されている方がいらっしゃいましたので、生活習慣の改善、正しく適度な運動を行うことなどのポイントをメモしながら熱心に聴き入っていました。

このように出張講演では、各団体様に、ご希望の内容や日時のニーズに合わせて講師を派遣しています。これからも地域医療連携室では、地域の皆様にお役立て頂けるよう様々な取り組みを行ってまいります。